

マジカル☆スウィート
Magical Sweet

恐怖！妖怪肉便器
ボクはきみの肉便器

恐怖！妖怪肉便器
ボクはきみの肉便器



マジカル☆スウィート

やっぱいいいなあ
女の子が襲われるのは

ぼくは女の子が襲われ自分の意志とは関係なく
無理矢理されるシチュエーションが好きで
その手の画像ばかり見ている

・・ひとりエッチでもしようか
でもその前にトイレといれ

トイレの扉を開けるぼく
だがそこにあつたのはトイレではなく
見たこともない古い部屋が広がっていた・・

どこだここは？
ぼくはいつたい・・

おそろしくなりその場から逃げようと思っても
トイレのドアはない
いや、出口が見当たらない

ここは・・どこなんだ！

ここはボクの家だよ

だれ？
誰なの？

不安でいつぱいのぼくが
声がした背後を振り向くと
そこには・・





ハク

イマ

こんちわぁ



うーうーうー
うわぁー!!

どうした？
まるでバケモノでも見たみたいに驚いて

まあ、合ってるんだけど
合ってるんだ……

は「ま」
に「ぐん」

ハクイマ
ベんき

きみは誰？
誰なの？

ボクは肉便器
きみたち人間が俗にいう妖怪

にく・・・べんき？

すごいなま・・・

いやあの・・・
個性的なお名前ですね

(脚にも名前書いてあるってすげー)

いいよ気にしなくても
ふざけた名前なのは自分が一番わかってるから
それよりきみ

怖がつてくるくせに
ちやんとおつきくなってるんだね
男の子が

にんげんき
は「ま」

いえあの
こゝこれは！

恥ずかしがることないよ
男の子だもんね
おつきおつきになるのは本能だからね

ボクどれぐらいそそる？
男の子がおつきおつきで
もう我慢できないぐらい？

あ、あのそ、それは・・・
ええ、いいしっかりしろほく！
すごく大きくなるぐらいそそります！

ハ
マ
ク
ン
ブ
ン
ク
ン

そんな大きな声ださなくてもいいよ
まじめなんだね
それに正直
でも正直なのはいいことだよ
ボクは正直な子
好きだよ



そーい、やきみ
おトイレに行こうとしてたよね
まだおトイレに行きたい？

い、まは
にげんき

いえ、あの

どうしたの震えて？
わたしがおトイレに連れていってあげる
大丈夫よ震えなくても

もっと震えることができ
おトイレだから



おしゃぶ
しょうじ

ちゅぱちゅぱ
ちゅぱちゅぱ
♪♪





おしゃぶり
しょうじょ

ボクのお口はおトイレだよ
 気にしないでいっぱい出して

נאנאנאנאנא

「そ、そんなことされたらぼく！
に、にく、肉便器さんっ！」

おしきざり
しょうじょ

בר
בר
נא
נא





おしちぶい
しょうじょ



ふふっ！
いっばい出したみたいね
ボクのおトイレ
きもちよかった？

はい！
最高です！

最高じゃないよ
この変態

す、すいません

それではボクは帰ります
きみがまたおトイレに行きたくなったら現れるかも
なんてね



え！
肉便器さん！

その場から消えてしまった肉便器さん
元に戻るほどの部屋
今のはいつたい・・・

夢？

いやそんなはずはない
たしかにぼくは肉便器さんと逢って・・・

あれ？急に力が・・・

その後眠ってしまい、気づいたら朝だった
学校に行く時間だ

学校に行っても肉便器さんのことばかり考えてなにも頭に入らない
肉便器さんに逢いたい
ほんの数分が数時間、数時間が数十時間に感じる時の流れ

やっと家に帰ってきたぼく
おトイレを開ける！

だがそこには肉便器さんはいなかった・・・

そうだよな・・・
こんな彼女なんか
暗い青春をおくつて
取り柄の奴のところに
かわいおい女の子が現
しかもお口でしてくれ
ありえないよなあ

ははは
ははは

自分を現実的に見つめ
ぼくは毎日の日課だつた
自分を慰めようとする

大好きな襲われている
女の子の姿を想像して

はあはあ
はあはあ

もう少しでいきそ・・・

そのときだつた

もういきそう？

だれこの声は！
まさか！

一人でいくんだ

に、肉便器さん！



いえあのこれはですね
そのあの・・・

なぜボクにそんなこというの
勝手にしていいのに



そうなんだけとお口でやってもらったから
悪いなあと・・・

ふうん
きみっておもしろいね

一人でやるためにこんなを使うんだ
女の子が襲われているやつ

いやあのそれは……

きみごういうの好きなんだ

……はい

「まっく
ブルック

・男の子は……の好きだよ
女の子は……
まあ別にいいや
ボクにはどうでもいいことだし

(あれ？なぜ言いかけてやめたんだろう？)

さてと
さあいまはどう？
おトイレに行きたい？

は、はい！

そう
じゃあ今日も
いっぱい出せるおトイレに
案内してあげる

おしちぶり
しょうじま

おしちぶり
しょうじま

おしちぶり
しょうじま



ほくもうだめっ！

おしがり
しょうは
おしがり
しょうは
おしがり
しょうは

おしがり
しょうは

おしがり
しょうは
おしがり
しょうは
おしがり
しょうは

肉便器さん！
すごいですっ！
いっばい出ますっ！

おしゅぶり
しょうぶ

つみっつみっ
ぶらぶらぶら
ー

さあ次はお世話になったおトイレを掃除しようか





きみの使ったおトイしを



きねいをいふ

に、肉便器さん！
ほ！ほく！

どうしたの震えて？

女の子のもの
見たのはじめて！



そうなんだ
それはうれしいよ
きみがはじめて見たオマンコがボクで



(そうきみが見る最初のオマンコ)
(そして・・・)

(最後のオマンコになるのさ)

ほ、ぼくやったことないから
もし間違ったらごめんね

うんいいよ
そんなこと気にしないから



きみの好きなように
ぼくのオマシコをきれいにして

そ、それでは・・・







ああんっ！
ボクのくりちゃんっ！
くりちゃんきもちいいっ！

なめなめ
くりちゃん

くりちゃんっ！



ああんっ！



ああんっ！

どうはあ〜んっ！

あ〜んっ！
オマンコから出てるの
きもちいいっ！
きもちいいっ！

なめなめ
くりちゃん

びちやぴちや♪





いけたぞ
なかなかよかったぞ
・・・どうした？

笑顔みせてくれたのはじめてだから

そういうことか
どうだボクの笑顔
かわいいか？



すごくかわいいよ！

そうだろうそうだろう
だってこの笑顔は今から
素敵なことが起こることへの
喜びだからな

素敵なこと？

ああそうだ

それはいったいどんな・・・

どうした？
なにかあったのか？

は「ま」
に「ぐん」

こゝこれは！
このイメーは！
まさかこの義わねていゐるのは
きみ、肉便器さん
くゝくるしい
苦しいよ

・・・そう苦しい
苦しいのか
くゝくゝ

「まゝ」
「ふん」



そうさその襲われている被害者
それはボクさ
おまえたち汚い男の犠牲になったボク
おまえたち汚い男は死んでしまえ！
苦しんで苦しんで後悔して
死んでしまえ！

•••
なぜ死なないんだ！

おかしい
こんなことはいままで一度も
•••おまえ•••
泣いているのか？

は「ま」
に「ぐん」

は「ま
に「ブ」んき

きみ被害者だったんだね
汚い男の犠牲になった
被害者だったんだね

ぼくはそんなことも知らず
ごめん
ぼくはこいつぢやないけど
同じ男としてごめん

おまえ……



肉便器さん！

だが彼女は姿を消した

頭に広がるイメージ

それは一人の女の子が男に無理矢理襲われているイメージ

泣きながら

悲鳴をあげる女の子

それが、それが

肉便器さん

いや正式には人間の姿の肉便器さんだった

人間の姿の・・・肉便器さん・・・

あれから何日
いや何週間が過ぎただろう
あの娘と過ごしたのはたったの2日だというのに
その2日がものすごく尊く
愛しい日々だったことに気づく

肉便器さん・・・
いつたいいまどうしているのだろう

ぼくは彼女に申し訳なく思ったのか
あれだけ大好きだった女の子の襲われて
いる画像をすべて捨てた
もう見るのも嫌だ

ぼくは最低だ
女の子が嫌がるのが好きだったなんて

ぼくは最低だ！
男であるぼくは最低だ！

そうだおまえは最低だ



に！
肉便器さん！
よかったです！
心配してたんだよ



あの・・・ごめん

なぜあやまるの？

いやその・・・
肉便器さんの気持ちも考えないで

あんな・・・
あんな最低なものが好きだったなんて・・・

・・・



見ただろ
ボクが襲われているところ

・・・うん

そう、あれは実際にあったこと
ボク、いやまだそのときはわたしと
わたくしが女の子の大切なものを奪
それとも無理矢理
そのときからわたしはボクになっ
女の子の自分が許せなかったから・・・
そして人間の女の子の自分を消し
妖怪になった・・・

「まじ
くべん



妖怪になつたボクは憎い男の命を奪い続けた
皮肉なことにその方法はず、ボクの身体を使うことだつた
本当はきみの命も奪うつもり、いや奪いたかつた
だけれどキミの命は奪えなかつた
ボクのために泣いてくれたから・・・

ねえお願いがあるんだけど
ボクをきみの本当の肉便器に
してくれな
い
きみの肉便器になつて、嫌なことを忘れた
い
いや忘れさせて欲しいんだ

・・・本当にそれでいいの？

ああ、いいよ
ボクはもう人間じゃないんだ

妖怪、肉便器なんだ
そうやって生きるしかないんだ
それならばせめてボクのために泣ける
きみの肉便器になりたい

・・・肉便器さん・・・

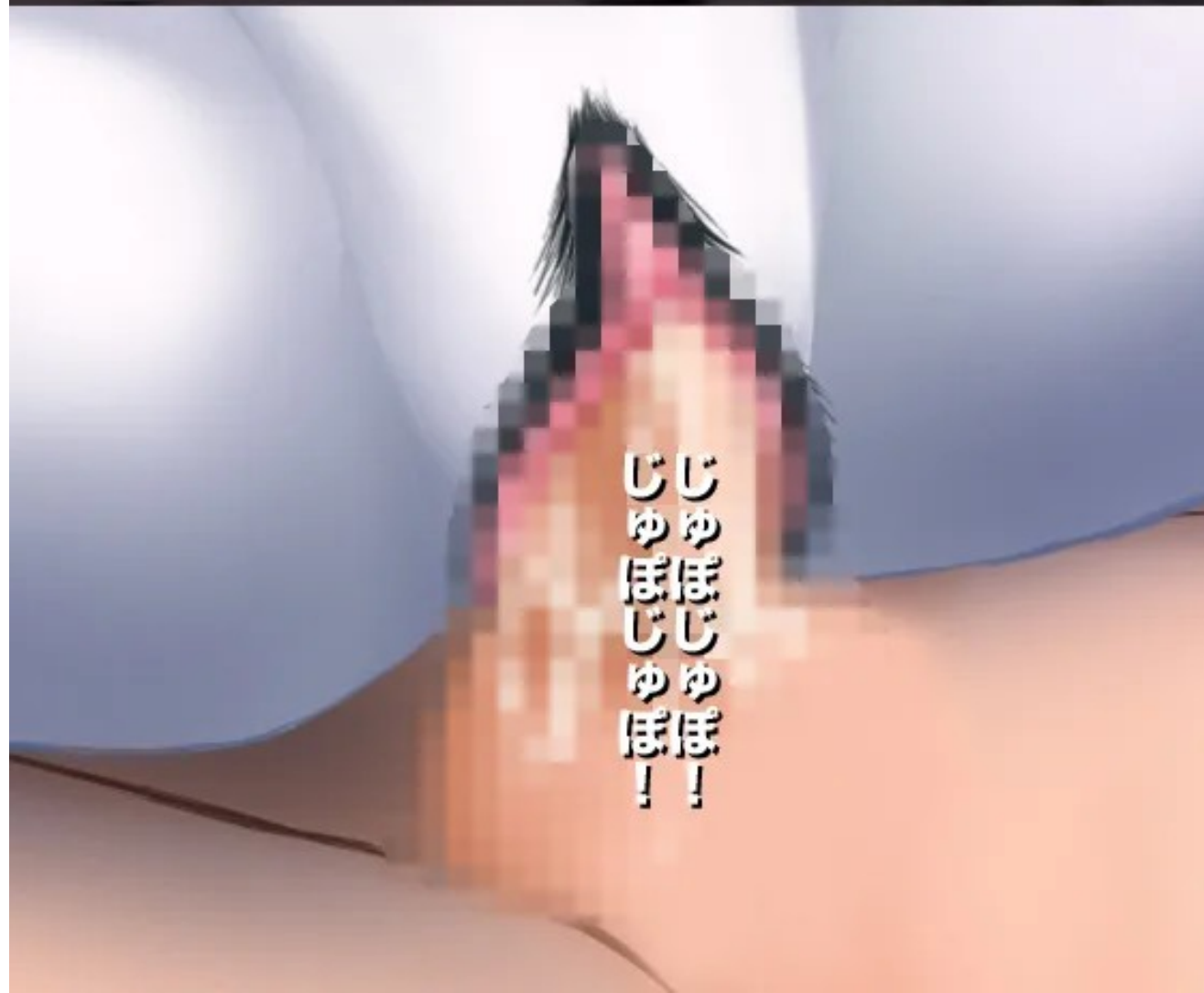
A close-up, high-angle shot of a character's face, focusing on the right side. The character has light skin and dark, wavy hair. A prominent red, heart-shaped mark is visible on the right cheek. The character's eyes are closed, and their expression is serene. The background is a soft, out-of-focus blue and white.

ぼ、ぼくやったことないから
うまくできなかつたら
ごめんね・・・

気にしなくていいよ
きみはただそのまま
ボクの動きに合わせてくれたら

きみはただボクの中を







あぁん！
きもちいい！
きもちいい！
きもちいい！

きみのものがボクの中につ！
オマンコだいきつきっ！
オマンコだいきいきい！

おまんこ だいす

じゅぽじゅぽ
じゅぽじゅぽ
じゅぽ！



に、肉便器さん！
ほ、ほくもう！
ほくもういきそう！

いいよお！
ボクもいっっちゃうっ！
ボクもいっっちゃうっ！



ボクのおまんこっ！
いっっちゃうっ！
いっっちゃうっ！

じゅぽじゅぽ！
じゅぽじゅぽ！
じゅぽじゅぽ！

いいっ！いいっ！うふふふっ！

はい！お嬢様！

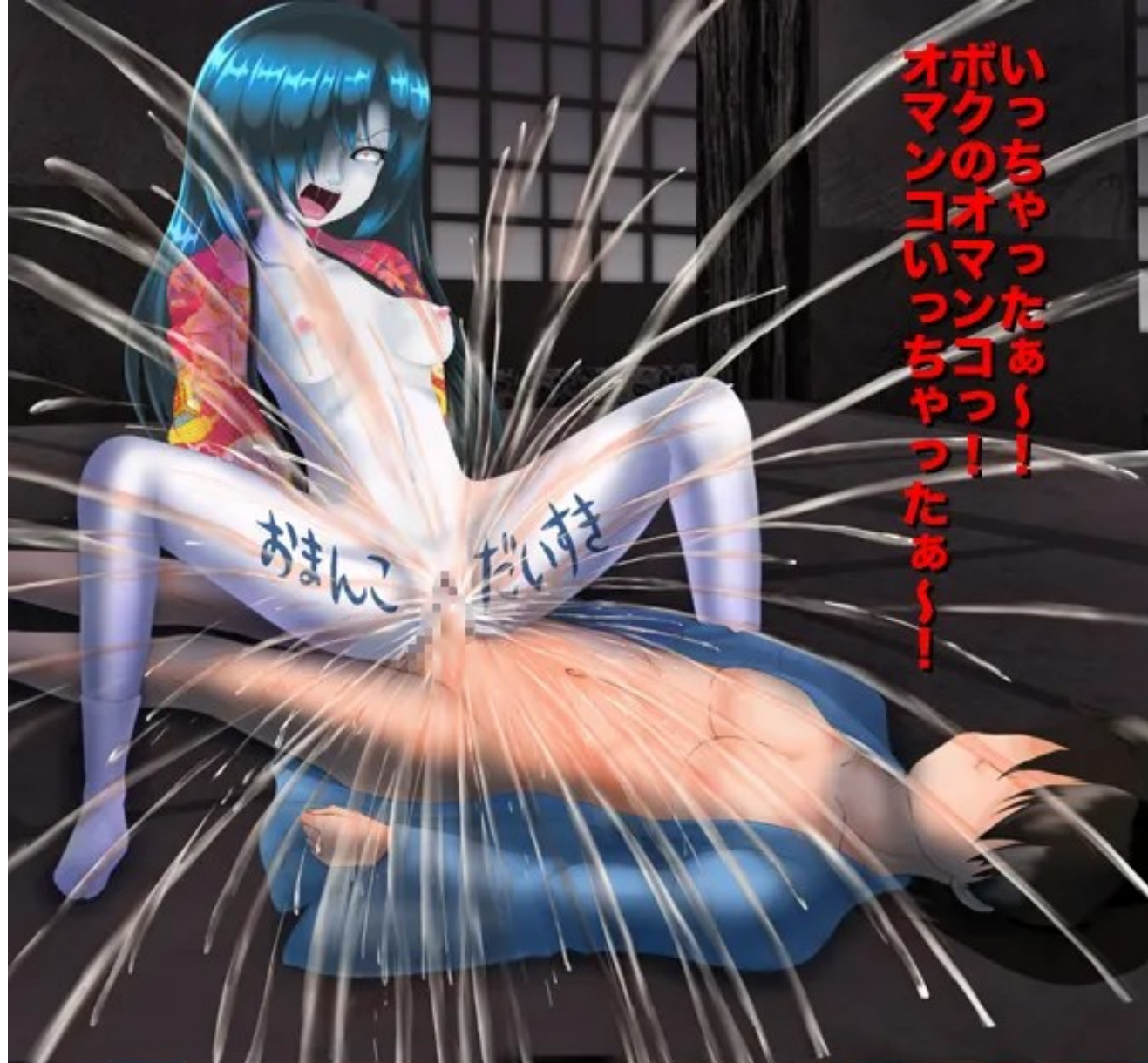
おまんこ だい

じゅぽじゅぽ！
じゅぽじゅぽ！

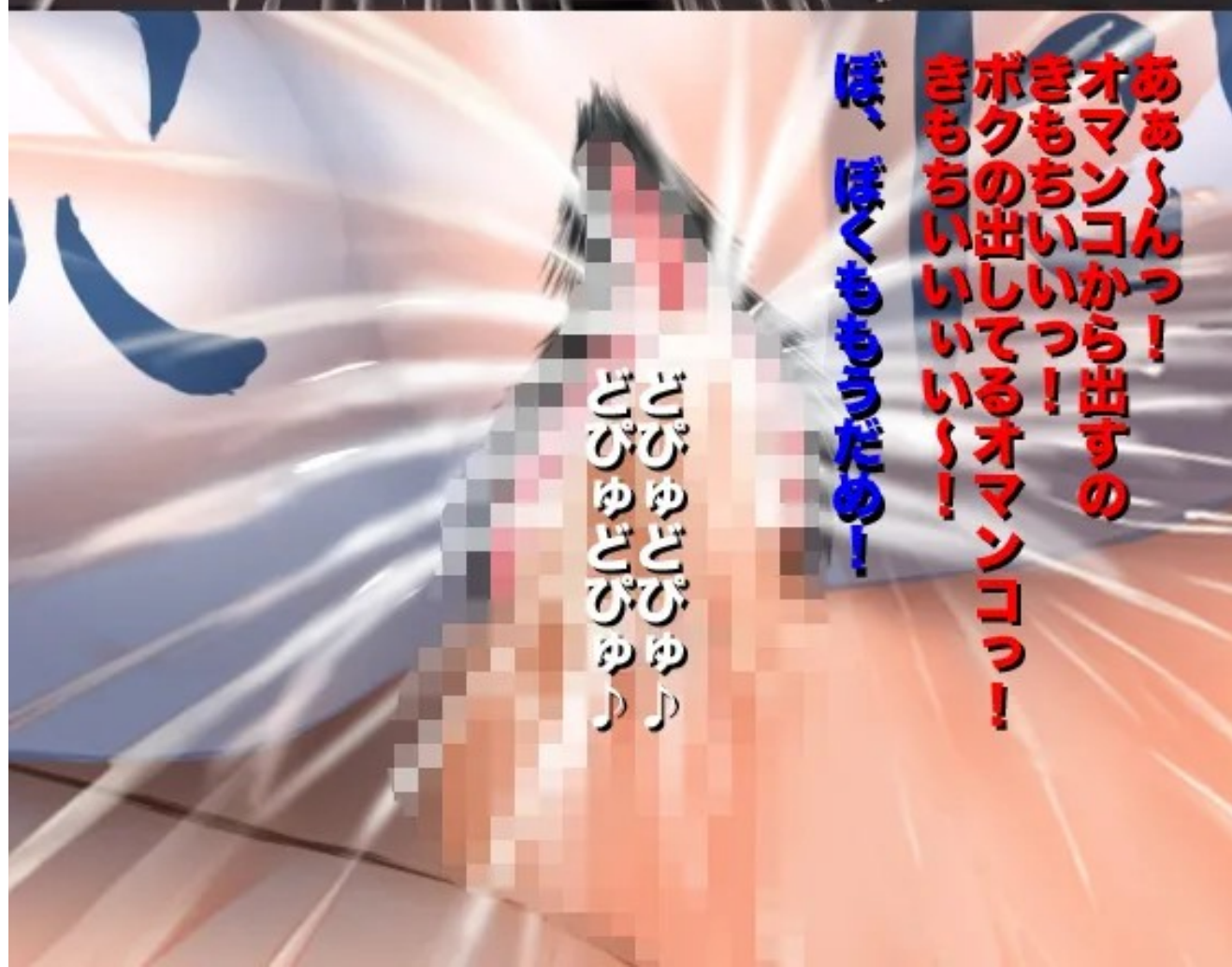
ボ、ボクのおまんこがつ！
も、もう限界と声をだしてっ！
ああんっ！
もうげんかいつ！
ボクのおまんこげんかいつ！
ボクのおまんこいつ！
いいいいっ！
いいいいっ！
おまんこいつくううっ！

じゅぽじゅぽ！
じゅぽじゅぽ！
じゅぽじゅぽ！
じゅぽじゅぽ！





いっちゃんあったあー！！
ボクのおまんこっ！！
おまんこいっちゃんあったあー！！



あーっ！
おまんこから出すの
きもちいいっ！！
ボクの出してるおまんこっ！！
きもちいいい！！

ほ、ほくももうだめ！

ごびゅごびゅ
ごびゅごびゅ

いやあゝ！
やめてっ！
やめてえゝ！

汚されるボク
これは夢だ
悪い夢だ
そう・・・悪い夢

だけど
悪い夢ではなかった
現実・・・
悪夢よりひどい現実・・・



どうしたの？
やっぱりつらいこと……
悪い出しちやった……

ううん
大丈夫きにしないで

きみは気にしないでボクを
自分の好きなようにして
きみが大好きな女の子が
・・・無理解おそれるやつ
・・・無理矢理おそれるやつ
・・・それを浮かべたいよ
・・・してくたらいよ

肉便器さん……
それでいいの？

ああいいよ
ボクをきみの肉便器にして

に……
は……



ボクがいついことをすべて忘れるぐらい
いいばいいばいいボクを
ボクを愛して
ボクがきみの本当の



肉便器になれるぐらいに

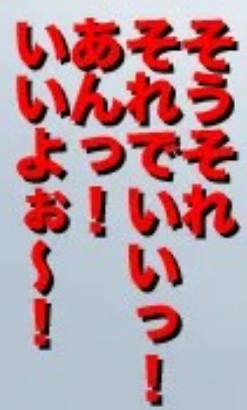
女の子を無理矢理襲うのが
好きなんだよ
いいんだよ
気にしないで

上半身と下半身は別だもんね
さあボクを
ボクの中をきみていっばいにして



じゅぽー





**じゅぽ
じゅぽ
じゅぽ
じゅぽ
じゅぽ**

き、きみのものがボ！
ボ、クのなかつつ！
は、はげしくつ！
激しく入ってくつ！
くるくるくるつ！
は、いってくるう！

じゅぽじゅぽつ！
じゅぽじゅぽつ！



さあいまこそきみの
きみの好きな女の子をここに！
そうボクはきみに襲われている女の子

はかだし
にくりんきの
おまにこちゃん

じゅ
じゅ
ぽ
じゅ
じゅ
ぽ
っ
！！

きみはきみの好きな
女の子の姿を想像して
ボクをつっ！
このボクをつっ！
きみのためにつっ！
きみ、にくめにつっ！
にく、にくめにつっ！
肉便器にしてっ！
すべてを！
すべてを忘れる
忘れ去るためにっ！

なかだし
にくべんきの
おまんこちゃん

じゅぽじゅぽっ！
じゅぽじゅぽっ！

ボクはきみの肉便器！

たいくさはんけい突がいてっ！

ボクをきみの肉便器につ！！

真の肉便器にしししっ！
してえっ！

ああくんきもちいいっ！
きもちいいっ！

もうだめっ！
ボクいっちゃうっ！

肉便器
っ
っ！

いっちゃんうっ！
オマンコいっちゃんうっ！

はきみの肉便器！
笑いてっ！
わがしてっ！
きみの肉便器にっ！
しししっ！

じゅ
ぽ
じゅ
ぽ
っ
！！



[illegible]

ぼ、ぼくもきつためっ！

はかたし
いんげんまめ
あまにこちゃん

じじ
ゆゆ
ぼぼ
じじ
ゆゆ
ぼぼ
つつ
！！



中出し専用！
ボウマの
だいかつ
いだん
飲んで
あげい
あばい
るき
つみい
！の
！の
ものを
オマンコ
で

はかだし
にくべんま
おまんこ



はかだし
にくべんま
おまんこ

に、肉便器さん！
あゝあゝ！

どぴゅどぴゅっ！
どぴゅどぴゅっ！

なにかだし
にくべんまの
おまんこちゃん

ぼくの！
肉便器さあ〜んっ！

ぶわわぶわわっ！
ぶわわぶわわっ！

にくべんを
おまんこ

はは
ああ
はは
ああ

はは
ああ
はは
ああ

おまん

3/10 16:55



はあはあはあ
ボク、ボクはあ
よく絞まっ
はあはあはあ
てた？



はあはあはあ
はいはい
よく絞まっ
はあはあはあ
てたです

.....

ほに、肉便器さん.....
ほく.....

* なかだし
にくべんきの
おまんこちゃん

ああすまない
気をつかわせたみたいだな
ボクのおマンコがきもちよかったみたいで
よかった
ボクはこれできみの
真の肉便器になれたみたいだな
ふふふ
うれしいぞ……

はかだし
にくげんきの
おまにこちゃん



おまえのおかげですっかり肉便器になれたぞ
おまえもこんなかわいい娘を肉便器にできてしあわせだな
おまえが女の子が襲われる、無理矢理するのが好きでも別に気にすることはないぞ
上半身と下半身は別
本能だからな



実際に行動にでるのは最低だが
思っているだけは罪じゃない
だから気にするな

・・・肉便器さん・・・

ぼく肉便器さんを傷つけた奴を許せない！
そして同じ男としてぼくも許せない！
だけど、だからこそ肉便器さんを大切にしたい
しあわせにしたい
ぼくまだまた子供だけ勉強やいろいろがんばって
肉便器さんを必ずしあわせにする
だから、だからぼくのそばに
ぼくと一緒にずっといて欲しい

ハッ
ン

のくせになに生憎氣いつてんの



こんな妖怪のことなんか忘れてしあわせになっ
てねばいい

肉便器さん！

は「ま」
に「ぐん」

そうかい残すと肉便器さんは

どこかへ消えてしまった

傷ついていたにほくが生意氣いったからだ

余計きずつけてしまった

ほくは最低だ

そう何度も何度も自分を責め立てながら

いつの間にかほくは眠ってしまった

眼に涙を浮かべながら

・・・肉便器さん・・・

おしゃぶ
しょう

ちゅぱちゅぱ
ちゅぱちゅぱ
♪





おしちぶい
しょうじょ

ちゅぱちゅぱ
ちゅぱちゅぱ
♪

あぁあっ！
おどん、肉便器さん！
おしちぶいの？
♪



おしな
しょう



肉便器さん！
ほくもうっ！
だめっ！

おしな
しょう

おしゃばい
しょうじょ

॥ श्रीगणेशाय नमः ॥

どど
びび
むむ
どど
びび
むむ
♪♪

おはよ朝だぞ
朝から出すなんてきみ
相変わらず好きだな

お、おはよう
というか肉便器さん！
どうして！
そしてそのかつこ・・・エフロン？

ハズレは
にんげんを

どうだ似合ってるだろ
かわいいだろう
男はこういうの好きだときいたんでな
うれしいか

う、うれしいですー
でもどうして？
どうして今ここにいのん
しかもそんなかついで

ハート
アンド
スト
パ

きみボクとずっと一緒にいたいって言ったじゃないか
だから来てやったんだぞ
おまけに朝食も作ってやったんだぞ
いやか？



い、いやだなんてそんな！
うれしいです！

さあそれでは学校に出発だな
お父さんとお母さんに心配かけるんじゃないぞ
ごはん食べたら出発！

はい！
いただきます！
ガツガツガツ
ごちそうさま！
おいしかったです！

にゅわん

あ、あの・・・
なんだ？
帰ってきてもらってくれるよね？
当然だ
じゃあ帰ってきてからあれを・・・



あれってなんだ？
ですからおしやぶりとか、あれをそれとか・・・



は、はい！

なにちょうしにのってんで！
くだらないこと言ってるの！
さつさと学校いきなさい！



なんてねた
ふんふん
ふんふん

心配しなくても帰ってきたらしてあげます
もちろんボクのオマシコも使って

おひなさんへー

おひなさんへー

それじゃあしつかりと勉強してくるのよ！
ボクとずっと一緒にいたいんでしょ
がんばってね！

はい！
がんばってきますー！
肉便器さん！
なに？

にゅわーん

かわい
愛してる
いね!!
よ!!

なに
はあ
いっ
てん
の
か

それ
では
行って
おま
ちー

ニ
ミ
ク
ス
ト
ス

まったくのくせに
妖怪をからかって
あんなちやうしで大丈夫なのかな？



でも、でも
うれしかったよ
ボクのことを想ってくれて

だい帰
つつてきたら
てばい楽しもうね
ボクはきみの
・・・

ハ
ま
い
ん
と

だいたい帰
つてきたら
っばい楽し
てはもうね
ボクはきみ
の…

ハ
マ
ン
ズ



肉便器だからっ！

ハァー